

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎501教室
担 当 教 員	左 明	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
内臓器系を講義と実習で勉強する。 泌尿器系・生殖器系・神経系などの内臓器系の基本構造と機能を学ぶ。課題を通して学習内容の理解を高め、 そしてよくある病気との関連をつける。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:基本は100%。ただし、「2～4」の項目で増減する。 2. 小テスト:90点以上の場合、一回に付き2ポイントを定期試験にプラス。ただし、100点に達するまで。 3. 課題についての発表:正しく発表できた場合、一回に付き1ポイントプラス。ただし、60点に達するまで。 4. 居眠りや私語の場合、一回に付き1ポイントマイナス(10ポイントまで)。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
解剖学 第2版 社団法人 東洋療法学校協会 編 河野邦雄ら著 医歯薬出版株式会社 早わかり解剖学ハンドブック 左 明著 ナツメ社						
《授業外における学習方法》						
教科書と参考書をよく読み、積極的な予習・復習に努めること。 授業終了後に問題集と国家試験の過去問(事前配布)を解くこと。わからないところをそのままにしないで、友達や、先生に質問し、その理解を高めること。また、積極的に模型を活用し、様々な構造物をイメージすること。						
《履修に当たっての留意点》						
①知識は楽にして身に付かない。人体の構造と機能という医学基礎知識を習得するには努力が必要。 ②人体についての知識は増えれば増えるほど、勉強が楽しくなるよ。 ③病理や臨床については、解剖学の知識がなければ語れない。本気にプロを目指しているのであれば、頑張れ！						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の構造を理解し説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	泌尿器系 腎臓①		早わかり解剖学ハンドブック	
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の働きを理解し説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	泌尿器系 腎臓②		早わかり解剖学ハンドブック	
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿路の構造・働きを理解し説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	泌尿器系③ 尿管・膀胱・尿道		早わかり解剖学ハンドブック	
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	男性生殖器の構造・働きを理解し説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	生殖器系① 男性の生殖器		早わかり解剖学ハンドブック	
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	女性生殖器の構造・働きを理解し説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	生殖器系② 女性の生殖器 模型で泌尿器と生殖器を復習		早わかり解剖学ハンドブック	

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	受精と発生について理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	生殖器系③ 月経周期	早わかり解剖学ハンドブック	
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の構成を理解する	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	神経系総論 神経系の基礎知識①	早わかり解剖学ハンドブック	
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳室系の構造、髄膜の構造と働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	神経系総論 神経系の基礎知識② 脳室系と髄膜	早わかり解剖学ハンドブック	
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳の構造と働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	中枢神経① 大脳	早わかり解剖学ハンドブック	
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	間脳・脳幹の構造と働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	中枢神経② 間脳と脳幹の外景・VTR鑑賞	早わかり解剖学ハンドブック	
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	脳の構造について説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	中枢神経③ 脳の模型で実習	早わかり解剖学ハンドブック	
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	間脳・脳幹の働きについて説明できる、小脳の働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	中枢神経④ 間脳・脳幹・小脳	早わかり解剖学ハンドブック	
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄の働きを理解する	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	中枢神経⑤ 脊髄と脊髄神経根	早わかり解剖学ハンドブック 心臓の模型	
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各神経叢の構造と働き・流れが説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	末梢神経① 脊髄神経: 頸神経叢・腕神経叢	早わかり解剖学ハンドブック	
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各神経叢の構造と働き・流れが説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	末梢神経② 脊髄神経: 胸神経・腰神経叢・仙骨神経叢	早わかり解剖学ハンドブック	

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		解剖学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年		1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎501教室
担 当 教 員		左 明	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
内臓器系を講義と実習で勉強する。 泌尿器系・生殖器系・神経系などの内臓器系の基本構造と機能を学ぶ。課題を通して学習内容の理解を高め、 そしてよくある病気との関連をつける。							
《成績評価の方法と基準》							
1. 定期試験:基本は100%。ただし、「2～4」の項目で増減する。 2. 小テスト:90点以上の場合、一回に付き2ポイントを定期試験にプラス。ただし、100点に達するまで。 3. 課題についての発表:正しく発表できた場合、一回に付き1ポイントプラス。ただし、60点に達するまで。 4. 居眠りや私語の場合、一回に付き1ポイントマイナス(10ポイントまで)。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
解剖学 第2版 社団法人 東洋療法学校協会 編 河野邦雄ら著 医歯薬出版株式会社 早わかり解剖学ハンドブック 左 明著 ナツメ社							
《授業外における学習方法》							
教科書と参考書をよく読み、積極的な予習・復習に努めること。 授業終了後に問題集と国家試験の過去問(事前配布)を解くこと。わからないところをそのままにしないで、友達や、先生に質問し、その理解を高めること。また、積極的に模型を活用し、様々な構造物をイメージすること。							
《履修に当たっての留意点》							
①知識は楽にして身に付かない。人体の構造と機能という医学基礎知識を習得するには努力が必要。 ②人体についての知識は増えれば増えるほど、勉強が楽しくなるよ。 ③病理や臨床については、解剖学の知識がなければ語れない。本気にプロを目指しているのであれば、頑張れ！							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	デルマトームの分布領域について説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
		各コマにおける授業予定	末梢神経③ 皮節(デルマトーム)		早わかり解剖学ハンドブック		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	全体の構造・流れが説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
		各コマにおける授業予定	末梢神経④ ビデオ鑑賞(血管を含む)		早わかり解剖学ハンドブック		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経の働きを理解し説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
		各コマにおける授業予定	末梢神経⑤ 脳神経 第1～5脳神経		早わかり解剖学ハンドブック		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳神経の働きを理解し説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
		各コマにおける授業予定	末梢神経⑥ 脳神経 第6～12脳神経		早わかり解剖学ハンドブック		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自律神経の働きを理解し説明できる		解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。	
		各コマにおける授業予定	末梢神経⑦ 自律神経		早わかり解剖学ハンドブック 模型		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	上行性伝導路の構造と働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	伝導路① 上行性伝導路	早わかり解剖学ハンドブック	
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	下行性伝導路の構造と働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。
		各コマにおける授業予定	伝導路② 下行性伝導路	早わかり解剖学ハンドブック	
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌器系の働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	内分泌器① 内分泌器の働き	早わかり解剖学ハンドブック	
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	それぞれの内分泌腺の構造と働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	内分泌器② 主な内分泌腺①	早わかり解剖学ハンドブック	
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	それぞれの内分泌腺の構造と働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	内分泌器③ 主な内分泌腺②	早わかり解剖学ハンドブック	
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	外皮・視覚器の構造を理解する	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	感覚器系① 外皮 視覚器①	早わかり解剖学ハンドブック	
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚器の働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	感覚器系② 視覚器②	早わかり解剖学ハンドブック	
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	平衡器の構造、嗅覚・味覚の働きを理解し説明できる	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	感覚器系③ 視覚器と平衡器 嗅覚 味覚	早わかり解剖学ハンドブック 模型	
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	復習	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題を解いておくこと。 友達同士で問題を出し合いながら勉強すること。
		各コマにおける授業予定	いままでの復習	早わかり解剖学ハンドブック	
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	解剖学教科書	教科書を読むこと。 配布された練習問題と過去問を繰り返し解くこと。
		各コマにおける授業予定	まとめ 解説	早わかり解剖学ハンドブック	